

本プロジェクトについて

大宮キャンパスがあるさいたま市や近接する上尾市等のまちづくり課題に対して地域の様々な主体と連携して、大学内の都市・建築・環境の専門知識やシステム思考による高度な分析や解決策を地元住民や自治体、企業へ提案し、地域の改善に役立てる大学教育・研究を実施するプロジェクトである。

サテライトラボ上尾について

- ・団地及び周辺地域の研究・教育・交流拠点の役割
 - ・大学や学生による社会に役立つ実践的研究や教育
- ⇒団地と大学を中心に様々な団体の連携による地域の課題解決

さいたま市見沼区に隣接する上尾市の原市団地では、団地の経年変化に伴って住民の高齢化や空洞化、住棟の老朽化など様々な問題が複動的に進んでいる現状である。

そこで、団地内空き店舗を活用し、原市団地及び周辺地域居住者のコミュニティ活動の拠点や学外教育・研究活動の拠点として、団地内にサテライトラボを開設した。これまで以上に学生が地域に入り込むことで、柔軟なアイデアや行動力で課題解決を進めることを目的としている。

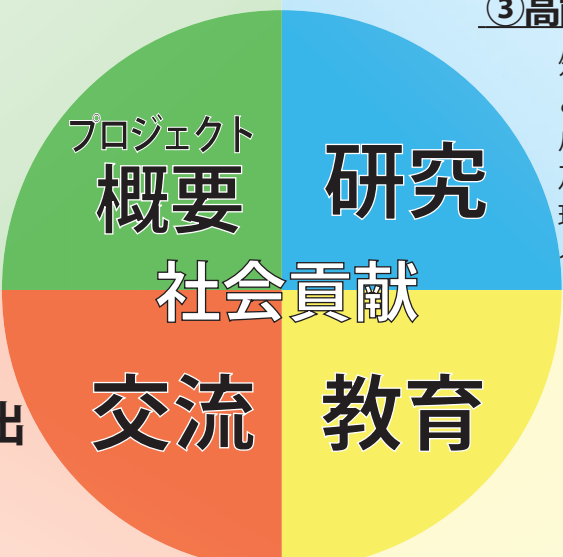
地域の自治会や行政、事業者等との連携を強化しつつ、高齢者の多い居住者と若い学生がコミュニケーションを重ねながら地域の課題解決に向けた取組みを実施することで、地域コミュニティの活性化を図っていく。



＜サテライトラボ上尾＞



＜原市団地上空 (googlemapより)＞



研究の POINT

- ・地域の課題解決に向けた学生や大学による研究活動
- ・他団体の協力による地域をベースとした研究の実現

① 拠点を活かした研究

空き店舗を活用した地域活性化・団地を拠点としたまちづくり・高齢化社会対応のまちづくり等、団地及び周辺地域の抱える課題の解決にむけた研究の実施。

また、他団体との連携による複合分野（健康 × 外出促進・防災 × コミュニティ・買い物 × 高齢化等）の研究の実現。



＜健康相談室！学生はNPO支援と研究の両方に取り組む＞

② 学生による研究のテーマ

■2015 年度研究テーマ

- ・ウェルネスの拠点づくりがもたらす住民意識の高まりに関する研究
- ・高齢者の外出行動からみた買い物弱者対策に関する研究
- ・高齢化団地における空き家改善に関する研究～原市団地をモデルにして～
- ・団地における大学連携の意義と課題 原市団地を対象に団地の持続性の課題と方向性の研究
- ・高齢化が進む住宅団地におけるコミュニティ活動と災害対策の現状と課題

■これまでの研究テーマ

- ・サテライトラボを活用した取組みと地域の変化に関する研究
- ・高齢化が進む住宅団地における高齢者の自立・健康の向上方策ーウォーキングマップ及びコミュニティガーデンの効果検証ー

③ 高齢者の外出促進にむけた実証実験

外出のきっかけづくりとしてウォーキングルートの設定とサイン及び照明の設置を実施。現在はコミュニティサイクルに向けて進行中。



＜太陽光を用いた照明付きウォーキングサインの設置＞



＜住民への周知を図る＞

交流の POINT

- ・情報の共有交換による新たな繋がり創出
- ・各団体の持つ知の共有と交流

① 運営会議

月に1回の運営会議では地域の課題に対して各団体の活動の情報を共有し、団体間の連携を行う。

原市団地自治会、上尾市（都市計画課、高齢介護課）、UR都市機構、URコミュニティ、白樺団地自治会、看護専門学校、社会福祉協議会、地域包括支援センター、コープみらい、NPO法人ヒューマンシップコミュニティ、その他



＜運営会議の様子＞

② NPO の協力による健康相談室¹

サテライトラボ上尾を活用して月1回の健康相談室の実施。健康に関する専門家と組織されるNPOと協同して団地の引きこもりがちな高齢者を健康面でサポートしている。



＜体組成計を用いた健康診断＞



＜お楽しみ企画の実施＞

教育の POINT

- ・学生による地域に入り込んだ実践的提案
- ・住民と学生双方にとってのまなびの場

① 建設工学演習・プランニング

原市団地とその周辺を対象とした大学院の演習授業。地域自治会や上尾市役所、民間事業者、専門学校など幅広い関係者と連携することで、地域の課題解決に向けて実践的なまちづくり提案を行う。



＜地域の方への発表＞



＜学生提案のイメージ＞

② 研究室による教室・勉強会

環境や防災等の各専門における研究室による専門知識の提供・共有。防災分野に関しては看護学校などと連携することで多方面から災害時の対応・対策が検討できる。



＜環境系研究室による親子環境教室＞



＜防災系研究室による防災学習会＞

ラボを拠点とした学生による取組み

① 授業提案からの実現・実践活動

カレー菜園

2014 年度演習の学生提案であり、栽培から食べるまでをひとつの交流活動とする提案。



＜提案時のイメージ＞

提案学生を中心に市民の農園を活用した農園活動の実施



＜ジャガイモ・里芋・大根の植え付け＞

育てた作物は団地内イベントで利用



＜夏祭りでの販売＞



＜芋煮会での利用＞

石窯ピザづくり

住民が参加しやすいのが、“食”に関する企画である事を受け、住民と共同での石窯作りと食イベントの提案。



＜提案時のイメージ＞

実証実験的に住民と共同での石窯づくり



＜団地内での石窯づくりの様子＞

他イベントでの利活用



＜相談室での利用＞



＜コープイベントでの利用＞

② にぎわいの創出＜地域行事への参加・季節イベントの開催・他団体の支援＞



＜お祭りでの出店＞



＜学生によるパフォーマンス＞



＜キャンドルナイト＞



＜ハロウィンイベントの開催＞



＜防災訓練への参加＞



＜コープみらいイベントの協力＞

その他
・子ども会との共同イベント
・餅つき大会
・ラボの開放